

ポスター発表者の皆様へ

[ポスターの作成]

- ・ポスター用のパネルは縦110cm×横90cm ですので、このサイズに収まるようにポスターの作成をお願いいたします。

[ポスターの掲示]

- ・ポスターは、第1日目(3月26日)午後から掲示できます。ポスター番号がパネル左上に表示されていますので、遅くとも2日目(3月27日)午前中には掲示を終了して下さい。ポスター掲示用の画鋸は会場で準備いたします。
- ・ポスターの撤去は3日目(3月28日)午後3時～午後5時30分までの間にお願いします。撤去時間が過ぎて取り外されていないポスターは事務局で処分させていただきますのでご了承下さい。

[発表時間]

- ・ポスター発表は2日目(3月27日)と3日目(3月28日)の13:00～15:00に行います。奇数番号と偶数番号に分け、次のように説明時間を設定いたしますので、ポスターの前で質疑に応じるようお願いいたします。

2日目(3月27日)

13:00～14:00 奇数番号

14:00～15:00 偶数番号

3日目(3月28日)

13:00～14:00 奇数番号

14:00～15:00 偶数番号

[講演要旨の訂正] (重要)

- ・ポスター発表の講演要旨に訂正がある場合には、訂正した講演要旨を2部作成し、一部はポスターの右下に貼付けておいて下さい。他の1部はポスター会場の受付に提出して下さい。
- ・訂正要旨を作成する場合には、訂正箇所が明確になるように必ず赤字で記載して下さい。

ポスター発表プログラム

菌類病—分類・同定—

座長 堀江博道

- P1 ギニアグラス等の牧草いもち病菌 *Pyricularia* spp.の病原性および分子系統上の位置
○月星隆雄・清多佳子・岡部郁子・菅原幸哉（畜産草地研）
- P2 日本国内のイネ科野草数種から見出された本邦未報告の *Neotyphodium* エンドファイト
○菅原幸哉・Christopher L. Schardl*・岡部郁子・月星隆雄（畜産草地研・*ケンタッキー大学）
- P3 ハナビシソウ葉枯病（新称）の発生
○忠英一・杉山悟・原田幸雄*（青森農林総研フラワーセ・*弘前大農生）
- P4 ハウスミカンに多発した菌核病と数種薬剤の防除効果
○田代暢哉・善 正二郎・中島貞彦（佐賀上場営農セ）
- P5 稲こうじ病菌 *Ustilaginoidea virens* の完全世代名 *Villosiclava virens*（新属・新組み合わせ）の提唱
○田中栄爾・芦澤武人*・園田亮一**・田中千尋***（石川県立大・**中央農研・野菜茶研**・京大院農***）
- P6 *Pestalotiopsis* 属菌の分類基準である分生子の中央有色3細胞の濃度測定
○渡辺京子・中園拓也(玉川大農)

座長 月星隆雄

- P7 *Discostroma* sp. によるカキ黒星落葉病(新称)
○山本淳・大高伸明*・佐藤豊三*（島根農技セ・*農生研）
- P8 *Mycosphaerella* sp. によるインゲンの雲紋病（新称）
○古川 聡子・岸 國平*（首都大学東京・*農業技術協会）
- P9 ナスすす斑病の病原菌(*Cercospora* sp.)の再同定
●原田 守・佐藤里奈・中島千晴・藤田智美*・松崎聖史*（三重大院生資・*愛知農総試）
- P10 イタドリ斑点病罹病葉から見出された *Mycosphaerella shimabarensis*（新種）について
●黒瀬大介・古屋成人・松元 賢・井上優子・Evans, H. C.*・Cannon, P. F.*・土屋健一（九大院農・*CABI Europe-UK）
- P11 ツブキの褐色円斑病（新称）とその病原菌
○佐野真知子・小林享夫・夏秋啓子（東京農大国際）
- P12 ウィンターコスモスに発生したそうか症状
●今井 彩・小野 剛*・竹内 純**・篠原弘亮・根岸寛光・陶山一雄（東京農大農・*東京農総研・**東京島しょ大島）

座長 佐藤幸生

- P13 サンショウ疫病菌の同定と防除法の検討
○北澤健・佐々木茂安*・江波義成・植松清次**・景山幸二***（滋賀農技セ・*滋賀県湖北地域振興局・**千葉農総研暖地・***岐大流域セ）
- P14 日本産 *Phytophthora infestans* の遺伝子型とトマト葉に対する病原力の関係

●廣富 大・後藤清孝*・細淵勇治*・秋野聖之・近藤則夫（北大院農・*サカタのタネ）

P15 2005年－2007年における日本産ジャガイモ疫病菌の遺伝子型

○秋野聖之・水沼花織・廣富 大・萩原寛之・林 敬介*・近藤則夫（北大院農・*シンジェンタジャパン）

P16 大阪湾岸の汽水湿地のアシの根から分離された *Pythium* 属菌の分類学および病原学的特性

●黒川恵子・東條元昭（大阪府大院生環）

P17 イネ苗立枯病の発生における *Pythium arrhenomanes* の関与

○戸田 武・殿岡慎太郎・皆川博孝*・堀越紀夫*・藤 晋一・古屋廣光（秋田県大生物資・*福島農総セ）

P18 日本各地の土壌から分離された *Pythium* 属菌の多様性

●埋橋志穂美・東條元昭*・柿嵐 眞（筑波大院生環・*大阪府大院生環）

P19 *Pythium helicoides* によるガーベラピシウム根腐病（新称）

○鈴木幹彦・景山幸二*・市川健・内山徹（静岡農林研・*岐阜大流域研セ）

P20 二核性 *Rhizoctonia* AG-Ba におけるサブグループ分化

●漆崎慎吾・加藤宗徳・森島千晶・尾関一浩・稲垣公治・荒川征夫（名城大農）

P21 Study on review of morphology and genetic analysis of *Waitea circinata* from diseased rice and corn plants

○Seint San Aye・Masaru Matsumoto（九大熱研セ）

P22 *Rhizoctonia solani* 菌糸融合群 AG-2-1 によるナバナ立枯病（新称）と菌糸融合群 AG-1 亜群 IC によるブロッコリー苗立枯病

○窪田昌春・東 貴彦*・富岡啓介**・佐藤豊三**・西 和文***（野菜茶研・*熊本防除所・**生物研・***日本くん蒸技術協会）

P23 農業生物資源ジーンバンク(MAFF)に保存される *Fusarium solani* 菌株及び関連菌種の分子系統学的再評価

○青木孝之・佐藤豊三・澤田宏之・永井利郎・富岡啓介（生物研）

P24 宮城県におけるコムギおよびイネ赤かび病菌（*Fusarium graminearum* 種複合体）の分布

●横田誠・東海林沙希・大場淳司*・生井恒雄（山形大農・*宮城古川農試）

菌類病—発生生態—

座長 芦沢武人

P25 ササニシキBL栽培圃場周辺に分布するいもち病菌レースの由来解析

○畑中教子・藤晋一*・鈴木文彦**・藤田佳克***・笹原剛志（宮城古川農試・*秋田県大生資・**九州沖縄農研・***中央農研）

P26 穂いもちの発生を抑制するイネ群落の植生指数と生育指標との関係

○笹原剛志・佐々木次郎（宮城古川農試）

P27 温度とCO₂濃度上昇がイネいもち病発病に及ぼす影響のFACEと温度勾配施設を用いた解析

○小泉信三・兼松誠司・小林 隆・馬 建鋒*・鮫島良次（東北農研・*岡山大生資研）

P28 イネいもち病菌の育苗期における病原性突然変異頻度の推定

●大場淳司*・**・畑中教子*・笹原剛志*（*宮城古川農試・**岩手連大）

P29 日本国内外で採集したイネ紋枯病菌におけるDNAフィンガープリントマーカーのクローニング

●森島千晶・加藤宗徳・漆崎慎吾・稲垣公治・荒川征夫（名城大農）

P30 飼料稲専用品種栽培圃場におけるいもち病の発生

○中島敏彦・関矢博幸・橘 雅明・山口弘道・木村勝一・鬼頭英樹・善林 薫・押部明徳（東北農研）

座長 宇佐見俊行

P31 リンドウ褐斑病の発病程度に対する接種濃度、温度および濡れ時間の影響

○猫塚修一^{*,**}・田中和明^{***}・佐野輝男^{***}（*岩手農研・**岩手連大・***弘前大農生）

P32 キュウリホモプシス根腐病の発病に対する地温と土壤水分の影響

●神田大樹・伊藤知範・戸田 武・藤 晋一・古屋廣光（秋田県大生資）

P33 国内で発生したウリ類ホモプシス根腐病菌の AFLP 解析による遺伝的多様性

●伊藤知範・藤 晋一・永坂 厚*・戸田 武・古屋廣光（秋田県大生資・*東北農研）

P34 ホモプシス根腐病菌感染によるキュウリの根の発病と萎凋症状との関係

○永坂厚・門田育生（東北農研）

P35 トマト葉かび病レース 4.9 および 4.9.11 の分布

○飯田祐一郎・窪田昌春・寺見文宏（野菜茶研）

P36 Economic thresholds rhizome rot of ginger (*Zingiber officinale*) on a field

○Kim, B. R., Han, K. S., Lee, B. C., Yang, E. S., Kwon, K. H. and Yu, S. H*. (Bioenvironment Division, Chungnam Agricultural Research and Extension Services, Yesan, Chungnam 340-861, Korea., * Department of Applied Biology, College of Agriculture and Life Sciences, Chungnam National University, Daejeon, 305-764, Korea)

P37 植物病原体の腐生性と寄生性に関する理論的考察

○鈴木清樹・佐々木顕*（九大理・*総研大葉山）

菌類病—病原体の性状，検出・診断，防除，その他—

P38 ニンニクから分離された黒腐菌核病菌の 2, 3 の性状について

○山下一夫（青森農林総研畑園試）

座長 竹内 徹

P39 異種寄生性さび菌, *Puccinia molinae*によるヌマガヤさび病のヌマガヤ湿原における発生消長

○仲谷房治*・原田幸雄**（*岩手植防・**弘前大農生）

P40 イチゴ炭疽病菌 *Glomerella cingulata* のマイクロサテライトマーカーの開発

○平山喜彦・岡山健夫・西崎仁博・松谷幸子（奈良農総セ）

P41 紋枯病発病イネ組織における病原菌の定量的 PCR 検出

●加藤宗徳・尾関一浩・漆崎慎吾・森島千晶・稲垣公治・荒川征夫（名城大農）

P42 チャの褐色斑点症状から分離された *Phyllosticta* 属菌について

○外側正之・紅林誠*・本橋慶一**（静岡農技茶研セ・*静岡農林大・**岐阜大流科研セ）

P43 ピワ 2 品種間における果実腐敗の発生差異

○菅 康弘（長崎果樹試）

P44 イチジク株枯病に対するイチジクとイヌビワの種間交雑体の抵抗性

○森田剛成・薬師寺博*・見世大作・軸丸祥大（広島総研農技セ・*農研機構果樹研）

P45 高緯度北極域のキョクチャナギの黒紋病の発生に及ぼすコケ類の同時繁殖の影響

○東條元昭（大阪府大院生環）

座長 三好孝典

P46 沖縄県におけるパパイヤ連作障害の実態調査

○亀川藍・河野伸二・澤岨哲也・上原弘樹* (沖縄農研セ・* 沖縄県立農大校)

P47 作物健康センサーによる線虫検出法の開発

○杉山俊平**・植原健人***・丸田幸男**・増田税* (*北大院農・**(株)ラボ・***北農研)

P48 異なる病害虫管理条件下で栽培されたリンゴ樹の葉圏微生物相の多様性の比較解析（2008年）

○赫英紅*・田中和明**・伊藤大雄**・佐野輝男*** (*岩手連大・**弘前大農生・***弘前大遺伝子)

P49 薬剤感受性検定法を用いたセイヨウナシ褐色斑点病防除に有効な薬剤の検索

○棚橋 恵・横山和男・尾谷 浩* (新潟農総研園研セ・*鳥取大農)

P50 岩手県南部におけるリンゴ斑点落葉病菌のストロビルリン系殺菌剤に対する感受性について

○足立嘉彦・土師 岳・伊藤 伝*・高梨祐明（東北農研・*果樹研リンゴ）

P51 センリョウ輪紋病，炭疽病に対する有効薬剤の検索および防除効果

○塚本俊秀（島根農技セ）

植物保護—生物防除・防除法—

座長 井上幸次

P52 山口型高設栽培システムにおける太陽熱消毒を利用したイチゴ立枯性病害の防除

○野村愛・鍛冶原寛*・井上興* (徳山高専専攻科，*山口県農林総セ)

P53 オゾン養液生成装置による養液殺菌技術の開発

○黒田克利・鈴木啓史・坂田訓章* (三重農研・*ハマネツ)

P54 転炉スラグ資材施用圃場における微生物資材施用培土で育成セル成型苗によるブロッコリー根こぶ病の防除効果

○佐古 勇・秋津教雄* (鳥取西部農林局・*多木化学(株))

P55 テンサイ根腐病に対するアブラナ科緑肥作物の効果

○佐久間太・今地大志郎*・橋爪健 (雪印種苗・*WDB)

P56 育苗期に使用する被覆資材によるイチゴ炭疽病発病抑制効果

○広田恵介 (徳島農技セ)

P57 薫蒸作物（チャガラシ，クレオメ）によるハウレンソウ萎凋病の抑制効果

北村亨・○三堀友子・下地格・佐久間太・橋爪健 (雪印種苗)

座長 小板橋基夫

P58 トマト葉かび病菌におけるアゾキシストロピン耐性菌の発生

○渡辺秀樹・桑原圭司*・杖田浩二**・堀之内勇人・石井英夫*** (岐阜農技セ・*岐阜防除所・**岐阜農技課・***農環研)

P59 ハクサイ軟腐病を防除する乳酸菌製剤の有効性

○津田和久・東山 (辻井) みや子・小坂能尚・梅村賢司*・三富正明*・辻元人**・久保康之**・片岡光信

P60 紫外光(UV-B)照射による施設栽培トマトおよびナス、キュウリの病害防除
○岡田清嗣・岡久美子・山田真*・石渡正紀*・草刈眞一(大阪府環農総研・*パナソニック電工)

P61 数種土壌病害に起因するスイカ急性萎凋症に対するクロルピクリン剤のマルチ畝内灌水処理の効果
○安田文俊・谷口幹雄*・稲本勝太・岡山裕志(鳥取農総研園試・*東伯農業改良普及所)

座長 渡辺 健

P62 麦類赤かび病菌(*Fusarium graminearum* 種複合体)の分類、毒素生産性とメトコナゾールに対する感受性
○堅石秀明・森 勝・三宅泰司・佐久間米子・最勝寺俊英(㈱クレハ)

P63 *Talaromyces* sp. KNB-422 によるイネばか苗病生物防除メカニズムの解析
●加藤亮宏・三宅泰司*・堅石秀明*・寺岡 徹・有江 力(農工大農・*(株)クレハ)

P64 イネに苗立枯れを起こすメタラキシル剤耐性 *Pythium arrhenomanes* の発生
●糟谷正広・野田沙緒理・八尾暢也*・福井 糧・東條元昭*(宇都宮大農・*大阪府大院生環)

P65 市販セルラーゼ剤によるトウガラシマイルドモットルウイルスの感染抑制
○岡紀邦・岡崎圭毅・建部雅子・信濃卓郎(北海道農業研究センター)

P66 乾熱種子消毒によるダイズ褐斑粒・紫斑粒発生抑制効果
○黒田智久・名畑越夫・佐藤秀明・石川浩司(新潟農総研作物研)

座長 堅石秀明

P67 アワユキセンダングサを活用した数種処理法によるサツマイモネコブセンチュウの防除効果と土壌微生物相に及ぼす影響
○田場 聡・島袋由乃・安次富 厚・諸見里善一(琉大農)

P68 *Streptomyces* sp. MBCN152-1 株に関する研究。(1) キャベツセル成型苗黒すす病に対する生物防除活性
○清水将文・中筋智子・中山幹康・窪田昌春*・鈴木智子**・山中 聡*** (三重大院生物資源学・*野菜茶研・**岡山大院自然科学・***アリストライフサイエンス(株))

P69 栽培方法の違いがシイタケに生息する細菌群に及ぼす影響
●関根早織・七海隆之・篠原弘亮・根岸寛光・陶山一雄(東京農大農)

P70 異なる温度環境下において植物残渣の土壌埋設が *Rhizoctonia solani* によるテンサイ苗立枯病を抑制する効果の比較検証
松井真里子・糟谷正広・本條 均・○福井 糧(宇都宮大農)

P71 高緯度北極域のコケから分離された *Trichoderma polysporum* の数種の雪腐病菌に対する拮抗性
●山崎優亮・東條元昭・星野 保*・貴田健一・Tronsmo, A. M. **・神田啓史*** (大阪府大院生環・*産総研北海道・**The Norwegian University of Life Sciences・***極地研)

菌類病—病原性・抵抗性—

座長 高橋英樹

P72 異なる植物から分離された *Corynespora cassiicola* の寄生性は house keeping 遺伝子の系統分化よりも速く進化する
○下元祥史*・**・佐藤豊三***・北條広****・竹内繁治*・木場章範**・曳地康史** (*高知農技セ・**生物研・***日植防研高知・**高知大農)

- P73 ワセシログに存在するダイズ茎疫病抵抗性遺伝子の推定と遺伝解析
○杉本琢真・吉田晋弥・森脇丈治*・入江和己（兵庫農総セ・*中央農研）
- P74 アズキ落葉病抵抗性遺伝子 *Pgal* とアズキ萎凋病抵抗性遺伝子 *Foa3* は同一遺伝子かごく近傍に連鎖する
鈴木孝子・○竹内 徹・島田尚典*（道立中央農試・道立十勝農試*）
- P75 エンバクいもち病菌のコムギに対する非病原力遺伝子 *PWT4* へのクロモソームウォーキング
●井上喜博・Hau, V.T.B.・中馬いづみ・土佐幸雄（神戸大院農）
- P76 Induced resistance and accessibility in rice plant using the incompatible and the compatible races of rice blast fungus
●Madadi, Abdul Khalid・Arie T.・Teraoka T.（Tokyo Univ. Agric. & Tech., Graduate School）
- P77 *Setaria* 属寄生性いもち病菌における *AVR-Pita* の分布
●萬野英俊・中馬いづみ・祝千尋*・諸石雅彦*・草場基章*・土佐幸雄（神戸大院農・*佐賀大農）
- P78 EDR1 は PEN 2 に依存しない非宿主抵抗反応を正に制御している
●晝間敬・西内巧*・加藤智朗*・浅野智哉*・奥野哲郎・高野義孝（京大院農・*金沢大学際科学実験セ）
- P79 GFP 発現ベクターを用いた *Epichloë festucae* 共生確立能欠損変異株のスクリーニング
○赤野史岳・川北一人・竹本大吾（名大院生農）
- 座長 林 長生
- P80 イネいもち病菌の非病原性遺伝子 *AVR-Pia* のクローニング
○三木慎介・大塚圭輔・芦澤武人*・平八重一之*・富田房男・曾根輝雄（北大院農・*中央農研）
- P81 いもち病菌集団における非病原力遺伝子 *AVR-Pii* の分布
●古田純一・中馬いづみ・草場基章*・吉田健太郎**・寺内良平**・土佐幸雄（神戸大院農・*佐賀大農・**岩手生工研）
- P82 いもち病菌におけるヒドロフォビンの接着性と病原性に及ぼす影響
●井上加奈子・池田健一*・中屋敷均・朴杓允（神戸大農学研究科, *神戸大先端融合研究環）
- P83 イネいもち病菌胞子発芽液中に分泌される Concanavalin A 結合型糖タンパク質の Suppressor 様活性
●角入明日美, 岡本泰樹, 新城 亮, 有江 力, 寺岡 徹（農工大院農）
- P84 イネいもち病菌の *FOW3* 相同遺伝子 (*MoFOW3*) の構造と機能
●前川大輔・李霞・神田裕之・播本佳明・柘植尚志（名大院生農）
- 座長 曾根輝雄
- P85 イネいもち病抵抗性遺伝子の病斑伸展抑制に関する相加効果
○安田伸子・藤田佳克（農研機構中央研）
- P86 イネいもち病圃場抵抗性遺伝子 *Pi34* 関連遺伝子群の Super SAGE 解析
○鬼頭英樹・善林 薫・松村英生*・中島敏彦（東北農研・*岩手生工研）
- P87 イネいもち病圃場抵抗性遺伝子 *Pi34* のマッピングおよび候補遺伝子の塩基配列解析
○善林 薫・鬼頭英樹・中島敏彦（東北農研）

P88 イネ穂いもち抵抗性遺伝子 *Pbl* の単離と発現様式

○林長生・早野由里子*・加藤恭宏**・城田雅毅**・船生岳人**・清水武彦***・井上晴彦・高辻博志
(生物研・*北農研セ・**愛知農総試・***STAFF 研)

菌類病—感染生理—

座長 鈴木文彦

P89 イネいもち病菌の DNA 相同組換え修復遺伝子欠失変異株の性質

工藤亮子・Sali Atanga Ndindeng・阿部 歩・芦澤武人*・○曾根輝雄(北大院農・*中央農研)

P90 イネいもち病菌の *mgssdl* 遺伝子破壊株を接種したイネの細胞反応と cDNA マイクロアレイ解析

●水野 聡・加藤智朗*・西内 巧*・森 正之・田中茂之**・辻 元人**・久保康之**・杉原寛之・古賀博則(石川県立大・*金沢大・**京都府立大)

P91 イネいもち病菌の感染促進因子 2'-deoxyuridine のイネの防御応答に対する影響

○安藤杉尋・清水崇史*・岡田憲典*・山根久和*・繁森英幸**・山田小須弥**・田部茂・西澤洋子・南栄一(生物研・*東大・**筑波大)

P92 関口病斑形成変異イネの光依存的抵抗性におけるトリプタミン経路の役割

○上野 誠・久村由美子・田淵 薫・木原淳一・荒瀬 榮(島根大生資)

P93 ケイ酸施用によっていもち病菌抵抗性が增强されたイネのプロテオーム解析及び感染部位における過酸化水素の検出

●杉原寛之・浅野智哉*・加藤智朗*・西内 巧*・水野 聡・森 正之・古賀博則(石川県立大・*金沢大)

P94 キャンセル

P95 標的遺伝子破壊及び RNA サイレncing を用いた宿主特異的 ACT 毒素生成遺伝子 *ACTTS2* の機能解析

網代直哉・宮本蓉子・増中章*・柘植尚志**・山本幹博***・五味剣二・○秋光和也(香川大農・*現北海道農研・**名大院生農・***岡山大農)

座長 草場基章

P96 *ACRS* mRNA 結合タンパク(AmBP30)の機能解析

●安田晋輔・西村聡・三宅ちか子・多々納智・小野由希子・大谷耕平・五味剣二・秋光和也(香川大農)

P97 NuERF4 は AAL 毒素に誘導される細胞死および茎枯病菌による病徴を促進する

●間瀬圭介・石濱伸明・水野貴仁・森 仁志・児玉基一郎*・吉岡博文(名大院生農・*鳥取大農)

P98 うどん粉病菌感染に対するシロイヌナズナ階層的防御応答の形態学的解析

○稲田のりこ・Elizabeth Ann Savory* (奈良先端大バイオ・*ミシガン州立大植物病理)

P99 オオムギうどんこ病菌感染葉から抽出した受容化誘導物質の特性

○鈴木智子・藤田景子・稲垣善茂・一瀬勇規・豊田和弘・白石友紀(岡山大自然科学)

P100 リンゴ小球形潜在ウイルスによるエンドウならびに *Medicago truncatula* の RNA サイレncing(2)

●川西由利子・栗原千明・上川 元・安永愛梨・田村顕裕*・山岸紀子*・吉川信幸*・稲垣善茂・一瀬勇規・豊田和弘・白石友紀(岡大院自然科学・*岩手大農)

P101 エンドウならびに *Medicago truncatula* の細胞壁に存在するタンパク質複合体

○塩原泰樹・丹羽昌信・安永愛梨・稲垣善茂・一瀬勇規・豊田和弘・白石友紀(岡大院自然科学)

菌類病—病原性・抵抗性—

座長 稲垣善茂

P102 植物病原糸状菌の病原性における糖新生経路の役割

- 近田佳奈・神田裕之・小原敏明・倉田智彬・飯田祐一郎・播本佳明・藤晋一*・柘植尚志（名大院生農・*秋田県大生農）

P103 *Fusarium verticillioides* の病原性に関与する G タンパク質 γ サブユニット FVGG1 の cDNA クローニングと機能解析

- 山村良美・水口芳信・黒崎文也（富大院・薬）

P104 キャベツ萎黄病菌の推定ペルオキシレドキシシ遺伝子 *hyr1* について

- 有本 聖・岡部明子・寺岡 徹・有江 力（農工大院・農）

P105 トマト属植物から分離された非病原性 *Fusarium oxysporum* の分子系統解析と非病原力/病原力関連遺伝子領域の分布

- 稲見圭悟・児玉基一朗*・寺岡 徹・有江 力（農工大院・*鳥取大農）

P106 不完全菌類 *Verticillium dahliae* が持つ交配型遺伝子のイデオモルフ

- 伊藤瑞穂・宇佐見俊行・雨宮良幹（千葉大院園）

P107 *Verticillium dahliae* の病原性系統特異的 DNA 配列が分布する染色体上の領域について

- 宇佐見俊行・深谷美穂・宮城翔一・富岡太一・雨宮良幹（千葉大院園）

P108 イチゴ炭疽病抵抗性品種と罹病性品種間の葉における斑点型病斑形成の差異

- 生井 潔・高野純一・夏秋知英*（栃木農試・*宇都宮大農）

P109 ウリ類炭疽病菌 MAPKK キナーゼ遺伝子 *CoMEKK1* の発現は cAMP シグナル伝達経路によって制御される

- 坂口 歩・辻 元人・久保康之（京都府大院生環）

P110 *Agrobacterium tumefaciens*-mediated transformation (AtMT) 法によるサンセベリア炭疽病菌 (*Colletotrichum sansevieriae*) の病原性変異株の作出

- 桑原秀仁・中村正幸・岩井 久（鹿児島大農）

植物保護—病原性・抵抗性, 感染生理—

座長 竹本大吾

P111 イネサイクロフィリン遺伝子の発現解析

- 加藤久晴・石田顕嗣*・小野田泰希・藤澤由紀子・岩崎行玄（福井県大生物資源・*京大農）

P112 希少糖の植物への作用 (10): D-Allose 処理により引き起こされるイネの白葉枯病抵抗性の解析

- 加野彰人・五味剣二・福元健志・大谷耕平・何森健・田島茂行・小原敏明*・田中啓司*・石田豊**・秋光和也（香川大農・*三共アグロ・**四国総合研）

P113 ラフレモンサビネン合成酵素の同定とサビネンの抗菌活性

- 神崎啓亮・國土（山崎） 祐未子・秋光和也・○五味剣二（香川大農）

P114 オートファジー能欠損シロイヌナズナにおけるプログラム細胞死と病原菌抵抗性反応

- 吉本光希・大隅良典*・白須 賢 (RIKEN PSC・*基生研)

- P115 ハイスルーブット無細胞タンパク質発現系を用いた病害抵抗性関連タンパク質の立体構造解析
○八丈野孝・門田康弘・五島美絵*・大沢登*・半田徳子*・寺田貴帆*・白水美香子*・横山茂之*,**・白須賢 (理研 PSC・*理研 SSBC・**東大院理)
- P116 放線菌 *Streptomyces padanus* AOK30 が定着したカルミア組織培養苗における遺伝子応答(3). 病原菌に対する定着苗の GST 遺伝子の応答
●目黒あかね**,長谷川幸子**,西村富生**,久能 均**,豊田和弘*,白石友紀* (*岡大院自然科学・** (株) 赤塚植物園生物機能開発研究所)
- P117 ユビキチンリガーゼ *ATL16* はシロイヌナズナの基礎抵抗性に関与する
○久保田真弓・高橋英樹*・百町満朗 (岐阜大応生・*東北大農)
- P118 *Trichoderma asperellum* SKT-1 株の培養濾液を処理した *Arabidopsis thaliana* における全身誘導抵抗性のシグナル伝達経路
●吉岡洋平・市川晴規・久保田真弓・百町満朗 (岐大応生)

菌類病—感染生理—

座長 中屋敷 均

- P119 灰色かび病菌抵抗性における NO パーストとオキシダティブパーストの役割
○浅井秀太・吉岡博文 (名大院生農)
- P120 WRKY8 は MAPK によりリン酸化され活性化状態になる
○石濱伸明・吉岡博文 (名大院生農)
- P121 ジャガイモの NADPH オキシダーゼである *StRBOHC* および *StRBOHD* のプロモーター解析
●宮川典子・吉岡美樹・吉岡博文 (名大院生農)
- P122 ジャガイモ疫病菌に対するベンサミアナタバコ植物の防御応答におけるサリチル酸およびエチレンの関与
●柴田裕介・川北一人・竹本大吾 (名大院生農)
- P123 StCDPK5 の StRBOHB に対する認識機構について
●市川達士・石濱伸明・上吉原裕亮・森 仁志・吉岡博文 (名大院生農)
- P124 ジャガイモ葉における S-ニトロソ化され得るタンパク質の特定
○加藤大明・竹本大吾・森仁志・川北一人 (名大院生農)
- P125 ペルオキシ亜硝酸イオン (ONOO⁻) の植物抵抗反応への関与
○樹神博士・竹本大吾・川北一人 (名大院生農)
- P126 WRKY8 と MAPK の分子間相互作用に関する研究
●山田麗子・石濱伸明・吉岡博文 (名大院生農)
- P127 ウリ類炭疽病菌 *cosd1* 破壊株胞子の注入処理に対するベンサミアナータバコ SIPK/WIPK 活性の評価
●田中茂幸・石濱伸明*・吉岡博文*・辻 元人・津下誠治・久保康之 (京府大院生環・*名大院生農)
- P128 カルシウムシグナル伝達経路に関与する薬剤の炭疽病菌の付着器侵入に対する影響
●大野弘貴・常松孝祐・鈴木一実(滋賀県大環境)

植物保護—病原性・抵抗性，生物防除・防除法—

座長 有江力

- P129 *Penicillium simplissimum* GP17-2 の培養ろ液によるシロイヌナズナの全身的抵抗性誘導と ABA を介したシグナル伝達経路との関連
●三宅真子・Hossain Md Motaher・久保田真弓・百町満朗（岐大応生）
- P130 病害抵抗性誘導剤処理によるイネ葉のバイオフロン測定
●工藤確・大塚周二・太田万理・牧野孝宏（光産業創成大学院大学）
- P131 生物防除微生物 *Pythium oligandrum* (PO) のトマト根圏への定着性に影響を及ぼす微生物群集
○関口博之・増中章・竹中重仁（北海道農研）
- P132 生物防除微生物 *Pythium oligandrum* 前接種トマト根部における青枯病菌の抑制の動態観察
○増中章・中保一浩*・高橋英樹**・竹中重仁（北農研・*中央農研・**東北大学）
- P133 細菌エンドファイトが誘導する病害抵抗性と圃場における効果の検討
○伊沢剛***・安田美智子**・香口哲行***・栗崎弘利****・篠崎聰***・仲下英雄**
*（株）前川製作所・**（独）理化学研究所・*** 広島総研・農技セ・**** 美唄市農業協同組合
- P134 Potential of two antifungal bacteria as biological control agents against garlic diseases
O Han, K. S., Kim, B. R., Lee, B. C., Yang, E. S., Kwon, K. H. Choi, J. E*.
(Bioenvironment Division, Chungnam Agricultural Research and Extension Services, Yesan, Chungnam 340-861, Korea., * Department of Applied Biology, College of Agriculture and Life Sciences, Chungnam National University, Daejeon, 305-764, Korea)
- P135 バリダマイシンAによるチャの病害抵抗性の誘導
○吉田克志・荻野暁子・山田憲吾・園田亮一（野菜茶研）

菌類病—病原性・抵抗性—

座長 久保田真弓

- P136 メロン第 XII 連鎖群上のうどんこ病抵抗性遺伝子のマッピング
○吹野伸子・坂田好輝・松元哲（野菜茶研）
- P137 冠さび病菌感染エンバク葉に誘導されるアベナスラミド蓄積とその生成成遺伝子発現の局在と配向解析
○内橋幸平・岡村薫・石原亨*・朴杓允・中屋敷均・土佐幸雄・眞山滋志（神戸大院農・*京大院農）
- P138 マンデビラ褐斑病を引き起こす *Corynespora cassicola* による宿主特異的毒素の生産
●中野文博・丸山徹也・Roxana Y. Parada・三宅律幸*・児玉基一朗・尾谷浩（鳥取大農・*愛知農総試）
- P139 イチゴ黒斑病菌の AF 毒素生成に関与する *AFTS* 遺伝子群の機能
●間瀬千晶・新城明久・播本佳明・宮本蓉子*・秋光和也*・山本幹博**・柘植尚志（名大院生農・*香川大農・**岡山大農）

- P140 ナシ黒斑病菌のendo型ポリガラクトナーゼは病原性に必須ではない
●藤本卓・池田健一*・玄康洙・姜 山**・朴杓允（神戸大農学研究科，*神戸大先端融合研究環，**貴州師範大学）
- P141 病原糸状菌および共生糸状菌の菌系成長時および宿主植物感染過程におけるカルシウムイオン濃度変動
●潮田遼・川北一人・竹本大吾（名大院生農）
- P142 リンゴ斑点落葉病菌 IFO8984 株の AM 毒素生成遺伝子群をコードする 1.4 Mb 染色体の構造解析
○播本佳明・児玉基一郎*・山本幹博**・尾谷 浩*・柘植尚志（名大院生農・*鳥取大農・**岡山大農）
- P143 トマトアルターナリア茎枯病菌における宿主特異的 AAL 毒素生成遺伝子クラスターの機能解析
●中林賢志・赤木靖典・柘植尚志*・尾谷 浩・児玉基一郎（鳥取大農・*名大院生農）
- P144 セイヨウナシ褐色斑点病を引き起こす *Stemphylium* sp.による宿主特異的毒素の生産
○奥田 榮・Roxana Y. Parada・棚橋 恵*・児玉基一郎・尾谷 浩（鳥取大農・*新潟農総研園研セ）

細菌・ファイトプラズマ病—分類・同定，病原体の性状，病原性・抵抗性—

座長 田中 穰

- P145 日本産ポインセチアより検出されたファイトプラズマの系統学的解析
●星 朱香・石井佳子・柿澤茂行・菅原杏子・石井良裕・小島伸子・大島研郎・難波成任(東大院農)
- P146 ファイトプラズマの転移性遺伝子クラスターの挿入により引き起こされた遺伝子破壊
○大島研郎・柿澤茂行・星 朱香・石井佳子・小島伸子・菅原杏子・石井良裕・難波成任(東大院農)
- P147 ファイトプラズマの主要抗原膜タンパク質遺伝子のクローニングと比較解析
○柿澤茂行・石井佳子・星 朱香・石井良裕・小島伸子・菅原杏子・大島研郎・難波成任(東大院農)
- P148 ファイトプラズマの昆虫伝搬能喪失株におけるプラスミドの段階的な欠失
○石井佳子・星 朱香・柿澤茂行・石井良裕・小島伸子・菅原杏子・大島研郎・難波成任（東大院農）
- P149 PPML: a database of Plant Pathogen Phytoplasma Database
Jungmin Seo, Taeha Woo, ○Hee-Young Jung*, Shigetou Namba** (Omicosis, Inc., *Kyungpook National University, **Univ. of Tokyo)
- P150 カンキツグリーニング病原細菌のファージ型DNAポリメラーゼ領域の上流領域に見られる部分的な組換え
○古屋典子・富村健太・奥田 充*・岩波 徹（果樹研・*九沖農研）

座長 向原隆文

- P151 沖縄県のトウガンで発生した *Erwinia carotovora* による果実軟腐症について
○澤岬哲也・河野伸二・亀川 藍・*宮平奈央・*土屋健一（沖縄農研セ・*九大院農）
- P152 First Report of Bacterial Canker of Walnut Caused by *Pseudomonas* sp. in Korea
○Seo, S.T.・Lee, S.H.・Kim, K.H.・Shin, S.C.・Furuya, N.*・Tsuchiya, K.* (KFRI・*Kyushu University)
- P153 Identification of *Dickeya* sp. Isolated from Bacterial Stem Rot of Potato
●Suharjo, R., Hayakawa, T., Tsujimoto, H., Nomura, K., T. Sawada, H.* and Takikawa, Y.(Fac. Agr. Shizuoka Univ. *Natl. Inst. Agrobiol. Sci.)

P154 メボウキ (バジル) から分離された *Pseudomonas cichorii* の病原性について
●稲垣 誠・梅原 涼・佐藤和樹・湯口真広・篠原弘亮・根岸寛光・陶山一雄 (東京農大農)

P155 *Solanum toxicarium* より分離された青枯病菌変異株の病原性
○森 太郎・稲田達則・藤吉智裕・松崎弘美・尾崎克巳*・松添直隆 (熊本県立大環境共生・*南九州大園芸)

P156 種いも伝染性病原細菌のジャガイモ塊茎からの簡易検出法の開発
田中文夫・不破秀明*・○堀田光生** (北海道立中央農試・*種管セ中央・**農環研)

細菌病—感染生理, 病原性・抵抗性—

座長 田村勝徳

P157 SGT1 は *Nicotiana benthamiana* の青枯病菌に対する防御応答を負に制御する
●伊藤 慎・大西浩平*・曳地康史・木場章範 (高知大農・*高知大総研セ)

P158 *Ralstonia solanacearum*—*Nicotiana* 属植物相互作用における Phosphatidic Acid Pase 2 の関与
●中野真人・大西浩平*・曳地康史・木場章範 (高知大農・*高知大総研セ)

P159 Involvement of newly identified genes rsc2169, rsc2170, and rsc2171 in *Ralstonia solanacearum* hrp regulation
●Zhang, Y., Kiba A.*, Hikichi, Y.*, Ohnishi, K. (RIMG of Kochi University, *Dept of Agriculture of Kochi University)

P160 *Pseudomonas viridiflava* によるレタス腐敗病の発病機構の解析
●垣内加奈子・疋田惟・田中将之・大西浩平*・曳地康史・木場章範 (高知大農・*高知大総研セ)

P161 *Pseudomonas cichorii* のナスへの病原性に関する phosphinothricin N-acetyltransferase 遺伝子の関与
●田中将之・大西浩平*・木場章範・曳地康史 (高知大農・*高知大総研セ)

座長 木場章範

P162 シロイヌナズナによる非メチル化 DNA 認識
●薬師寺賢・稲垣善茂・豊田和弘・白石友紀・一瀬勇規 (岡山大院自然科学)

P163 *Pseudomonas syringae* のフラジェリン糖鎖修飾構造とその合成に関わる遺伝子の機能解析 II
●常見和彦・田口富美子・古西智之*・石井 忠*・山本雅信**・亀山真由美**・吉田 充**・一瀬勇規
(岡山大院自然科学・*森林総研・**食総研)

P164 *Pseudomonas syringae* pv. *tabaci* におけるフラジェリン糖鎖欠損変異株の諸性質の解析
田口富美子・亀山真由美*・山本雅信*・吉田充*・石井忠**・古西智之**・○一瀬勇規
(岡山大院自然科学・*食総研・**森林総研)

P165 Analysis of the Genes Involved in the Synthesis of Modified 4-Amino-4,6-Dideoxyglucose in Flagellin of *Pseudomonas syringae* pv. *glycinea*
●Nguyen Chi Linh, Taguchi, F., Yamamoto, M.*, Ohnishi-Kameyama, M.*, Yoshida, M.*, Ichinose, Y.
(Okayama University, *National Food Research Institute)

P166 *Pantoea* 属細菌のイネ, タバコに対する病原性の調査
●松本大雪*・木戸一孝**・瀧川雄一** (*静岡大農, **静岡大創造院)

P167 カンキツかいよう病抵抗性の遺伝
今井 篤・○塩谷 浩・清水徳朗 (果樹研カンキツ)

座長 一瀬勇規

P168 *Pectobacterium carotovorum* subsp. *carotovorum* 由来フラジェリンにおける細胞死誘導必須部位の決定
●田中尊徳・井上望・藤澤侑弥・平田久笑・露無慎二 (静岡大農)

P169 *Xanthomonas* 属細菌のエフェクター (AvrBs3/PthA ファミリー) の抵抗性遺伝子 *Bs3* プロモーター領域への結合解析
●奥出祥子・平田久笑・露無慎二 (静岡大農)

P170 Plant phenolic compound *o*-coumaric acid enhances biofilm formation and Pel production in *Dickeya dadantii* 3937
○Kabir Md. S., Hirata H. and Tsuyumu S. (Shizuoka University)

P171 カンキツかいよう病菌の病徴発現におけるテロメレーズの役割
●石山佳幸・関谷敏芳・松倉藍・平田久笑・露無慎二 (静岡大農)

P172 細菌感染がタバコモザイクウイルス (TMV) による局部病斑形成に及ぼす影響 (2)
○石川典子・平田久笑・露無慎二 (静岡大農)

細菌病—生物防除・防除法

座長 奥 尚

P173 リン酸・カリウム肥料の無施肥によるジャガイモそうか病発病への影響
○菊池健太郎・小林輝和・田中祐・清水裕貴・三谷生雄・吉田穂積 (東農大生産)

P174 非病原性 *Erwinia ananas* によるイネ内穎褐変病の生物防除
○長谷川優 (鳥取農林総研農試)

P175 イネ葉鞘に生息する細菌の群集構造と性状解析
●吉田満明・植屋由希・永田裕子・古屋成人・吉田重信*・對島誠也*・土屋健一 (九大院農・*農環研)

P176 コムギ葉鞘における生息細菌密度とアシル化ホモセリンラクトン類生産・分解能の解析
●植屋由希・吉田満明・古屋成人・吉田重信*・對馬誠也*・土屋健一 (九大院農・*農環研)

P177 バクテリオファージによる青枯病菌 *Ralstonia solanacearum* 防除技術の開発に向けて
●藤原亜希子・佐藤聡一・川崎 健・藤江 誠・宇佐美昭二・山田 隆(広大院・先端研)

P178 青枯病菌 *Ralstonia solanacearum* に感染する T7 様バクテリオファージ RSB1 の遺伝子解析
○川崎 健・清水美緒・薩摩英希・藤原 亜希子・藤江 誠・宇佐美昭二・山田 隆 (広大院・先端研)

ウイルス病—分類・同定, 病原体の性状, 検出・診断—

座長 岩井 久

P179 The Occurrence of New Strain of *Potato virus Y* in Syria
●Chikh Ali, M.***, Maoka, T.*** and Natsuaki, K.T.* (*Tokyo Univ. Agric., **GOSM Syria, ***NARCH)

P180 *Tomato chlorosis virus* の発生
●廣田知記・夏秋知英・村井保・Sedyo Hartono*・西川尚志**・奥田誠一(宇都宮大農・*ガジヤマダ大・**宇都宮大バイオ)

P181 秋田県に自生するウイルス感染ヤマノイモの SSR マーカーに基づく分類

●岡山直人・吉田康徳・井上みずき・戸田 武・古屋廣光・藤 晋一(秋田県大生資)

- P182 カブ黄化モザイクウイルスは種子ならびに昆虫により伝染する
●山崎雄也・望月知史・大木 理 (大府大院生環)
- P183 *Bacillus megaterium* M-21 を用いたトウガラシマイルドモットルウイルス (PMMoV) 防除の試み
○浜田博幸・藤澤一郎*・大木健広・池頭靖夫**・津田新哉 (中央農研・*鯉渕学園・**片倉チッカリン)
- P184 手もみ式簡易磨砕容器‘フィンガーマッシャー’で磨砕した際のサンプルの磨砕程度と ELISA (ASGV, SDV, IYSV) ならびにイムノクロマトキット (ASGV, SDV) での検出感度
○井手洋一・ロ木文孝 (佐賀果樹試)
- P185 ブルーベリー赤色輪点ウイルス(仮称)の検定法の開発
○磯貝雅道・石井厚次・吉川信幸 (岩手大農)
- P186 RT-PCR-マイクロプレートハイブリダイゼーション (RT-PCR-MPH) によるジャガイモ A ウイルスの検出
○小松崎麦子・眞岡哲夫* (種管セ後志・*北海道農研)
- P187 キュウリおよびメロンに感染する 7 種ウイルスの RT-PCR による同時検出と同定
○宇賀博之 (埼玉農総研)
- P188 RT-LAMP 法を用いたコムギ縮萎病ウイルスの根部における早期検出法
○鈴木啓史・黒田克利 (三重農研)
- 座長 磯貝雅道
- P189 TAS-ELISA 法によるトマトおよびタバコナジラミからの *Tomato yellow leaf curl virus* の検出
○大崎秀樹・野見山孝司・石川浩一 (近中四農研)
- P190 パッションフルーツ東アジアウイルス指宿株 (EAPV-IB) の全塩基配列決定
●福元智博・中村正幸・岩井 久 (鹿児島大農)
- P191 Radish mosaic virus (RaMV) カリフォルニア分離株のゲノム RNA 全塩基配列の解析
●畑田康司・川西剛史・尾関丈二・小松健・橋本将典・山次康幸・難波成任 (東大院農)
- P192 パナナから分離されたキュウリモザイクウイルスの全塩基配列の決定
●松澤章彦・志村華子・河野伸二*・増田税 (北大院農・*沖縄農研)
- P193 ミャンマーのユウガオ (*Lagenaria siceraria*) から分離された新種の *Potexvirus* 属ウイルス
●キム オッキョン・水谷任佑・夏秋啓子・李 起運*・Khin Soe** (東京農大国際・*韓国慶北大・**Ministry of Agriculture and Irrigation, Myanmar)
- P194 日本産ジャガイモ M ウイルスの感染性転写産物および cDNA クローン
●鈴木翔多朗・畑谷達児 (北大院農)
- P195 Systemic infection of barley plants after inoculation with *in vitro* transcripts from full-length cDNA clones of *Barley yellow mosaic virus* RNA1 and RNA2
●You, Y. and Shirako, Y.* (Graduate School of Agricultural and Life Sciences, Univ. Tokyo) ・*ANESC, Univ. Tokyo)

- P196 栽培ジネンジョからの *Japanese yam mosaic virus* (JYMV) および *Yam mild mosaic virus* の検出と JYMV の遺伝的多様性
●幸坂有規・鍛冶原寛*・田中秀平・伊藤真一 (山口大農・*山口県農林総セ)
- P197 Molecular Characterization of four *Turnip mosaic virus* isolates Collected from *Brassica* and *Raphanus* Plants in North Vietnam
○Huy, D.N., Takeshita, H. and Ohshima, K.(Fac. of Agriculture, Saga University)

ウイルス病—サイレンシング, 病原性・抵抗性—

座長 増田税

- P198 リンゴ小球形潜在ウイルスベクターを利用した各種草本植物でのウイルス誘導ジーンサイレンシング (VIGS)
○山岸紀子・石原亜耶・高橋由佳里・田村顕裕・須貝友和・五十嵐亜紀・山形広輔・磯貝雅道・吉川信幸 (岩手大農)
- P199 リンゴ実生苗でのウイルス誘導ジーンサイレンシング (VIGS)
●佐々木慎太郎・山岸紀子・山形広輔・小森貞男・磯貝雅道・吉川信幸 (岩手大農)
- P200 M.: Analysis of Rice *RNA-dependent RNA Polymerase 1* (*OsRDRI*) mediated RNA silencing Pathway.
●Chen, H., Samadder, P. P.***, Tanaka, Y.****, Mori, M.****, Yamaoka, N., Miyao, A*, Hirochika, H.* and (United Grad., Ehime Univ.*Natl. Inst. Agrobiol. Sci.**Present, Univ. Arizona***Present, Wakasa-Wan Ener. Cen.****Ishikawa Pref. Univ.)
- P201 ズッキーニ黄斑モザイクウイルスの HC-Pro におけるアミノ酸変異と弱毒性
●久野修司・王 蔚芹・西川尚志*・東山 (辻井) みや子**・小坂能尚**・奥田誠一・夏秋知英 (宇都宮大農・宇都宮大バイオ*・京都農資セ**)
- P202 ラッカセイわい化ウイルス (PSV) の N 末端領域欠失 2b タンパク質の解析
○根津 修・平塚和之*・桑田 茂**・日比忠明***・宇垣正志・鈴木 匡 (東大院新領域・*横浜国大院環境情報**明治大農***法政大生命)
- P203 タバコ条斑ウイルスは RNA サイレンシング抑制能をもつ
●新井裕里恵・塩田 聡・桑田 茂 (明治大農)
- P204 オオバコモザイクウイルス (PIAMV) がコードする triple gene block protein 1 (TGBp1) による RNA サイレンシング抑制機構の解析
○千秋博子・尾関丈二・川西剛史・姫野未紗子・小松健・山次康幸・難波成任 (東大院農)
- 座長 佐々木信光
- P205 キュウリモザイクウイルス Y2b タンパク質が大腸菌毒性を示す要因の決定
●末田香恵・志村華子・目黒文乃・増田税 (北大院農)
- P206 キク B ウイルスの ORF6 タンパク質は全身感染効率に影響する
●大川篤史・西川尚志*・奥田誠一・夏秋知英 (宇都宮大農・*宇都宮大バイオ)
- P207 *Paprika mild mottle virus* 日本株 (PaMMV-J) のトマトへの全身移行能におけるレプリカーゼ遺伝子の関与
●木村謙太郎・松元克俊・木場章範・奥野哲郎*・曳地康史(高知大農・*京大院農)

- P208 キュウリモザイクウイルス外被タンパク質 129 番目のアミノ酸残基の置換が病徴発現に及ぼす影響
○望月知史・大木 理 (大阪府大院生環)
- P209 Correlation between Viral Amount in Developing Leaves and Symptom Severity on the Fully Expanded Leaves of *Cucumber mosaic virus*-Infected Tobacco.
●Sunpapao, A., Mochizuki, T. and Ohki, S.T. (Graduate School of Life and Environmental Sciences, Osaka Prefecture Univ.)
- P210 カブモザイクウイルスに感染したハクサイの病徴を決定する宿主及びウイルス因子
●藤原綾香・金甫 大・犬飼 剛・増田 税 (北大院農)
- P211 エンドウ PI 226564 系統においてクローバ葉脈黄化ウイルスの強毒性を決定するウイルス因子の探索
○厚見剛・島田涼子・中原健二・上田一郎 (北大院農)
- P212 トマト黄化葉巻ウイルス(TYLCV)の感染性クローンをを用いた病原性解析
●上野敬規・鈴木匡・上田重文・宇垣正志 (東大院新領域・*九州沖縄農研)
- P213 トマト黄化葉巻ウイルス感染によるペチュニアの病徴と花色の変化
○上田重文・大石桃子・大貫正俊 (九州沖縄農研)

ウイルス病—病原体の性状, 病原性・抵抗性—

座長 鈴木匡

- P214 数種 *Tobamovirus* の 5'非翻訳領域 (5' UTR) に由来する Internal ribosome entry site (IRES)活性について
●渡邊知行・中浜克彦・小倉里江子・林原千恵子・松尾直子・平塚和之 (横浜国大院環境情報)
- P215 Host-dependent Roles of the 5' Untranslated Region (UTR) of *Red Clover Necrotic Mosaic Virus* (RCNMV) RNA1 in cap-independent translation mediated by its 3' UTR
●Sarawaneeyaruk, S., Iwakawa, H., Kaido, M., Mise, K., and Okuno, T. (京大院農)
- P216 *Red clover necrotic mosaic virus* RNA1 の 3' 端非翻訳領域における-1 フレームシフトに必要なシス因子の同定
●田島由理・岩川弘宙・海道真典・三瀬和之・奥野哲郎 (京大農)
- P217 Strepto Tag 法を用いた *Red clover necrotic mosaic virus* RNA2 に存在する複製酵素リクルート因子の同定
○岩川弘宙・安夢楠・峯彰・海道真典・三瀬和之・奥野哲郎 (京大院農)
- P218 *Red clover necrotic mosaic virus* 複製酵素タンパク質が形成する複合体の性状解析
●峯彰・竹田篤史*・海道直典・三瀬和之・奥野哲郎 (京大院農・*オレゴン州立大)
- P219 *Melandrium yellow fleck virus* (MYFV) RNA3 の 5'非翻訳領域内に存在する短い open reading frame (ORF) がウイルス感染に与える影響
●楢林大樹・海道真典・奥野哲郎・三瀬和之 (京大院農)
- P220 *Rice transitory yellowing virus* (RTYV) がコードする 6 種タンパク質のウイルス感染植物およびウイルス保毒虫からの検出
○平栗章弘・清水巧・一木(植原)珠樹・林隆治・大村敏博・笹谷孝英 (中央農研/PROBRAIN)

座長 鈴木信弘

- P221 各種植物に接種した Cucurbit chlorotic yellows virus の上位葉進展
○山崎修一・岡崎真一郎・行_ 裕*・奥田 充** (大分農林水産研安全・*熊本農研セ・**九州沖縄農研)
- P222 ムギ類萎縮ウイルス SBWMV の細胞間移行において隣接細胞で感染を成立させるウイルスゲノム数の推定
●宮下脩平・岸野洋久・白子幸男* (東大院農、*東大アジア生資研)
- P223 KELP ホモログの一過的過剰発現によるトマトモザイクウイルスの細胞間移行に対する抑制効果
●小田原達郎・佐々木信光・丹生谷博 (農工大遺伝子)
- P224 オオバコモザイクウイルス(PIAMV) の外被タンパク質と移行タンパク質(triple gene block protein 1; TGBp1) との *in vivo*における相互作用の解析
●青山倫子・尾関丈二・川西剛史・岡野夕香里・前島健作・山次康幸・難波成任 (東大院農)

ウイルス病—マイコウイルス—

座長 鈴木信弘

- P225 *Alternaria alternata* mycovirus 1 のウイルス様粒子を構成するタンパク質の生化学的解析
●青木菜々子・浮池孔洗・*児玉基一朗・有江力・寺岡徹・福原敏行・森山裕充 (農工大農・*鳥取大農)
- P226 植物病原菌 *Alternaria alternata* からの新規 2 本鎖 RNA マイコウイルスの探索
●浮池孔洗・青木菜々子・*児玉基一朗・有江力・寺岡徹・福原敏行・森山裕充 (農工大農・*鳥取大農)
- P227 イネいもち病菌を弱毒化するマイコウイルスの全塩基配列とそのウイルス粒子
加藤幸栄・●鈴木佑・浦山俊一・青木菜々子・有江力・寺岡徹・福原敏行・森山裕充 (農工大農)
- P228 栽培きのこのウイルス検出技術の開発
○馬替由美・太田千奈*・枝克昌*・砂川政英 (森総研・*(株)北研)

ウイルス病—生物防除・防除法, 弱毒ウイルス—

座長 藤 晋一

- P229 ズッキーニ黄斑モザイクウイルス (ZYMV) 弱毒株のパパイア輪点ウイルス (PRSV) に対する干渉効果について
○梁 宝成・奈尾雅浩*・片桐伸行・安原壽雄・小坂能尚** (京都微研・*愛媛農林水研・**京都農資セ)
- P230 2 種の外来遺伝子を同時に発現するズッキーニ黄斑モザイクウイルスベクターの構築
○王 蔚芹・奥田誠一・夏秋知英 (宇都宮大農)
- P231 栽培ジネンジョにおけるヤマノイモモザイクウイルス (JYMV) 弱毒系統を利用したモザイク病の防除
○鍛冶原寛・村本和之・井上興・瀧野奨*・山内直樹*・田中秀平*・伊藤真一* (山口県農林総セ, *山口大農)
- P232 ジャガイモ Y ウイルス塊茎えそ系統分離株から得られた複数のタバコおよびジャガイモ弱毒株の分子性状
○小川哲治・富_ 保弘*・Huy, D.N.*・茶谷正孝**・眞岡哲夫***・佐山充***・間宮幹士****・大西 昇****・中村茂雄*****・大島一里* (長崎総農林試愛野・*佐賀大農・**長崎総農林試・***北海道農研・****キリンアグリバイオ (株) (現キリンホールディングス (株))・*****宮城農園研)

P233 ジャガイモ Y ウイルス塊茎えそ系統弱毒株実用化のためのマイクロチューバーの利用
○間宮幹士・大西昇・小川哲治*・茶谷正孝**・眞岡哲夫***・佐山充***・大島一里****
(キリンアグリバイオ (株) (現キリンホールディングス (株))、*長崎総農林試愛野、**長崎総農林
試、***北海道農研、****佐賀大農)

P234 ジャガイモ Y ウイルス塊茎えそ系統弱毒株保有マイクロチューバーの圃場における干渉効果
○眞岡哲夫・佐山 充・小川哲治*・茶谷正孝**・間宮幹士***・大西 昇***・大島一里****
(北海道農研・*長崎総農林試愛野・**長崎総農林試・***キリンアグリバイオ (株) (現キリンホールデ
ィングス (株))・****佐賀大農)

ウイルス病—病原性・抵抗性—

座長 夏秋知英

P235 イネ縞葉枯病抵抗性候補遺伝子の発現抑制
○早野由里子・斎藤浩二 (北農研)

P236 RNAi 法を用いたイネグラッシースタントウイルス抵抗性遺伝子組換えイネの開発
●小神野匠・清水巧*・平栗章弘*・長岡 (中蘭) 栄子*・中島雅己・阿久津克己・大村敏博*・笹谷孝英
* (茨城大農・*中央農研/PROBRAIN)

P237 抵抗性遺伝子をもたない植物における細胞死誘導遺伝子組換えウイルスの封じ込め
新井智幸・根岸勇太・●小賀田拓也・松下保彦 (農工大遺伝子)

ウイロイド病—防除法, 発生生態, 病原体の性状, 感染生理—

座長 夏秋知英

P238 トマト退緑萎縮ウイロイド (TCDVd) の各種化学薬品による消毒効果
松浦昌平・○清水佐知子・松下陽介*・宇杉富雄**・津田新哉** (広島総研農技セ, 花き研*, 中央農研
**)

P239 トマト退緑萎縮ウイロイド (TCDVd) のトマトにおける器官増殖性およびクロマルハナバチによる媒
介性
○松浦昌平・小塚玲子*・松下陽介**・津田新哉*** (広島総研農技セ, 千葉農技セ*, 花き研**, 中央
農研***)

P240 共感染-競争実験によるホップ矮化ウイロイド-ブドウ野生株とそのホップ適応変異体の生物的適応度
の比較解析
●伊藤 (川口) 陽子*・佐野輝男**, *** (*岩手連大・**弘前大農生・***弘前大遺伝子)

P241 ウイロイドの病徴発現に伴って発現量が低下するフラボノイド生合成系遺伝子群の発現量解析
●葛巻英祐・佐野輝男 (弘前大農生)

P242 キクわい化ウイロイドの cDNA 感染性クローンの作製
○松下陽介・Penmetcha Kumar*・築尾嘉章 (花き研, 産総研*)